

22 西伊豆歩道(通り崎コース)

西伊豆歩道は伊豆西海岸の大瀬崎(沼津市)から西伊豆町堂ヶ島までの海岸線に作られた八つつの長いコースである。伊豆市内を通るコースの一つ目は通り崎コースである。起点は土肥港であるが、土肥から港までを追加して通り崎コースとして紹介した。

修善寺駅から松崎行き、長八美術館行きのバスで51分、土肥温泉で下車。

車利用の場合は、松原公園の市営駐車場に停めて、終点の八木沢からバスに戻ることになる。バスの便はあまりよくないので、事前に調べて



▲世界一の花時計

おいた方がよい。
● 関東新東海バス修善寺事業所
☎0558-72-1841
バスを降りた所に世界一の花時計と温泉ヤグラ、足湯・手湯の施設がある。

花時計はキネスブックに載った時計で直径31び、分針の長さは12.5び、秒針は10.8びで、周囲は四季の花で彩られている。さらに時計の外側には健康歩道が設置されていて、この歩道の上を歩くことにより、足裏のツボを刺激し、血行促進的効果、運動生理効果、ストレス解消などに効果があるという。

すぐ隣が松原公園でマツ林に入ると、地元作家による沢山の彫像と若



▲松原公園(若山牧水像)

山牧水の歌碑、島木赤彦の歌碑、大場美夜子の句碑、井沢満の青春の碑などがあり、近くの松原大橋の歩道橋には若山牧水の像もある。大正7年に初めて土肥温泉を訪れた彼は、土肥温泉をこよなく愛し、何度も訪れて、沢山の歌を残している。

温泉ヤグラの所には花登壇の歌碑もある。
マツ林を抜け海岸遊歩道を土肥港へ。火振川のバス停の先に西伊豆歩道通り崎コースの案内板がある。左の山道へ入ると、簡易舗装された急な坂を右に大きくカーブしながら上っている。右下に国道、左にみかん畑を見ながら灌木の中を行くと、やがて平坦で歩きやすい道になる。枝道もあるが真っすべ進む。右手、海側の木立の間から富士山が望める。

元臨海学校のフェンスから左に曲がり、急な丸太の段を上り切ると小さな切通しの峠。ここは道しるべの石碑がある。

峠からは丸太の段の下り、女竹や灌木から竹藪になり、港から30分で富士見園地。休憩舎と文政の道標(道しるべ)とその説明板がある。

それによること、この道は、現在の海岸線を走る国道が出来る前は、この山道が唯一の交通の要所であった。古く江戸時代には、旅人が道に迷い、

文政の古道を道しるべに導かれて鄙びた八木沢へ

しばしば追いはきに遭い困っているのを知った地元八木沢集落の長者が、私財を投じて、この石道標を建てたと言う。それ以来、道に迷う旅人もなくなり、追いはきも出沒しなくなったと言つ。石碑には「南無妙法蓮華經」と大きく彫られているほか、建立した長者の名前もある。

簡易舗装された急な坂を下り。右側が明るく開け八木沢の海岸や丸山が見える。もう一つの文政の道標を見て、右に大きくカーブして下り切ると国道に出る。ここに西伊豆歩道の案内板がある。案内板ではここが通り崎コースの終点となっている。(全長1.65km、約40分)。ここで終わっても交通の便がないので旧道を400ほど歩いた八木沢のバス停を終点とした。

バス停の手前に天神神社があるので詣でていこう。小さな神社ではあるが見応えのある彫刻がある。本殿の中には「翁媪酒を楽しむ図」と俳句の扁額が掲げられている。佐藤伝兵衛は文政元年(1818)この地に生まれ、長じて宮大工となり伊豆・駿河の各地で杜寺の造営に大きくかかわった人物で、同時に優れた彫刻師・絵師でもあった。号を環(たまき)または多満喜と称した。



▲文政の道しるべ



▲翁媪酒を楽しむ図(天神神社)



コースタイム(参考)

修善寺駅	バス	八木沢	15分	富士見園地	30分	土肥港	20分	土肥温泉	20分	バス	修善寺駅
			55分		30分		20分		20分		51分

●所要時間：約1時間50分